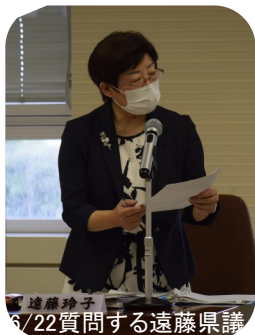




6月県議会…命と暮らしを守る県政めざして、遠藤れい子県議の大事にしたい事(その2)

厚生環境委員会で、原発、男女平等など質す



6/22質問する遠藤県議

6月22日、新潟県議会厚生環境委員会で、遠藤れい子県議が、東京電力柏崎刈羽原発で新たに72カ所の安全対策工事未完了が判明した問題や温室効果ガス削減対策、男女平等の働き方改革などを質しました。

柏崎刈羽原発の一連の不祥事について

◆6月10日に発表された新たな工事未完了について、県はいつ報告を受けましたか。どのように対応しましたか。

◆核物質防護体制の不備は調査結果を待たず県として適時報告を求め、県民にも概要を知らせるべきではありませんか。

◆県技術委員会が独自

に調査に入り、検討することが必要ではありませんか。

【県防災局の回答】

◆東電からは発表前日に工事未完了と点検継続の説明を受けた。

◆厳格な点検実施と再発防止を求めた。

◆核物質防護に関する調査は報告書作成前でも、県技術委で東電から報告を受け議論した

い、などと答えました。

くり返される東電の不祥事と隠ぺい体質。厳格な対応を今後も求めていきます。

男女平等の働き方改革などの取り組みについて

民間企業の管理職に占める女性比率が新潟県は14・1%で全国43位と女性登用後進県であると指摘。

◆多忙な管理職の働き方改革や女性登用の意識改革を。

◆男性の育休取得の支

援などを求めました。

【県民生活環境部の回答】

◆女性対象のリーダー研修に加え、今年から企業の意識改革へ人事担当者セミナーを開始。

◆県職員の男性の育休取得率は現在11・9%であるが、令和6年までに30%へ引き上げる目標で取り組みたい、と答えました。

知事に、原発・県央基幹病院問題を質す

6月29日、県議会連合委員会の報告(上)

地球温暖化対策と原発について

【遠藤れい子議員】

地球温暖化抑制のためには、温室効果ガス排出の約4割を占める電力部門の見直しがかぎを握るが、原発回帰は大きな問題があると考える。



6/29 遠藤れい子議員
花角知事に質す

い、などを理由に「原発が地球温暖化対策に資する」との考えは誤りだと指摘している。知事の認識を伺う。

【花角知事の答弁】

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書において低炭素排出電源の一つと位置付けられている。…

【遠藤れい子議員が指摘】

IPCC報告書は、原発推進の立場でないことをスバリと指摘!

報告書では「原子力エネルギーは低炭素エネルギー供給への貢献を増やしていく可能性はあるものの、様々な障壁とリスクが存在する。運用するリスク及び関連する懸念。ウラン採掘リスク、金融規制リスク、未解決の廃用・廃棄物の管理問題、核兵器拡散の懸念、及び反対世論などである」とし、「地球全体としてみた場合、原発がなくても2℃目標の達成は技術的には可能だ」と書いていることを紹介し、反論しました。(以下、次号)



6/29 答弁する
花角英世知事

◆東京五輪は中止し、新型「コロナ」から国民の命を守れ!
◆日本共産党の躍進で命を守ろう! 野党共闘で政治を変えよう。